

## 第5章 計画の推進方策



この計画の取組みをどのように進めていくかを示しています。



たくさん取組むみたいだけど、誰がどうやって確認するのかしら？

まちづくりや福祉、環境、産業などの住宅に関連する庁内各部署が連携して、定期的の実施状況の確認を行っていきますよ。



ということは、市役所の人たちだけで、確認していくのかしら？

いえいえ。  
NPOや事業者さんと市で研究会をつくって、お互いに連携をとりながら、施策を実行していきます。

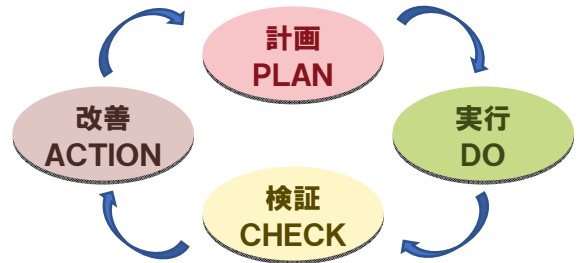




## 1 計画の進行管理の考え方

住宅政策に関連するまちづくり、福祉、環境、産業などの庁内各部局との相互連携による推進体制の強化を図るため、庁内組織等を設置し、定期的な進捗状況の確認を行います。

また、施策の展開で掲げた推進施策や具体的な取組みの確実な進行に向けて、PDCAサイクルに基づき、毎年、成果指標の評価・検証を行い、検証結果を改善に繋げ、必要に応じ見直しを行いながら、効果的な施策の実施に向けて計画的に取組みを進めていきます。



## 2 施策の実行

まちづくりの総合的な視点から、本計画で位置づけた住宅施策を着実に推進するため、社会情勢の変化や国の住宅施策の更新等を的確に捉え、施策内容等を適切に見直し、迅速に更新していく必要があります。そのため、住宅部局以外にまちづくり、福祉、環境、産業などの多様な関連部局と連携した「(仮称)静岡市住生活基本計画庁内連携推進会議」を設置し、庁内各部局との相互連携による体制を強化します。

また、市民や事業者、行政といった各主体が、それぞれに期待される役割を十分に認識した上で、連携し、協働で取組んでいく必要があります。そのため、NPO等や住宅関連事業者と市が連携した公民連携の研究会を開設し、相互に連携を図りながら施策を実行していきます。

## 3 施策の検証

施策の検証は、毎年度、各施策・事業の取組みについて、進捗状況を確認していきます。

進捗状況の結果については、「(仮称)静岡市住生活基本計画庁内連携推進会議」において報告し、必要に応じて、改善方策等を検討することとします。

## 4 施策の改善

施策の検証を踏まえ、施策の方向性の実施方法を適宜見直していきます。

また、概ね5年後の2022年度をめどに、社会情勢の変化や国の住宅政策の動向等を踏まえ、各施策の方向性を見直すこととします。見直しに際しては、有識者等からなる「(仮称)静岡市住生活基本計画有識者会議」を設置し、有識者会議での審議を踏まえて、施策の改善等、必要な事項の検討を行います。

## 5 計画期間

本改定計画の基本的な計画期間は、2018年度から2026年度までの9年間です。

ただし、第4次静岡市総合計画の策定や、社会情勢の大きな変化があった場合には改定を行うこととしています。



## 6 世界共通目標を踏まえた対応

SDGs(持続可能な開発目標)とは、2030年までに経済・環境・社会の各分野に関して国際社会が抱える課題を解決するための17の目標(ゴール)と169の行動目標(ターゲット)です。

世界共通の目標であるSDGsの推進については、政府も積極的に取り組んでいるところであり、静岡市も市民生活の質の向上と世界水準の都市を目指し、積極的に取り組んでいます。

特に、市民の住生活の安定の確保及び向上の促進に関する基本的な方向を定める本計画は、「目標11 都市 住み続けられるまちづくりを」に直結するものといえます。

このSDGs(持続可能な開発目標)との深い関係性の中で、今後、本市の住宅施策を力強く展開していきます。

※SDGsの17の目標のうち、本計画と関係性が強い「目標11 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する」は、2017年(平成29年)11月に行われた本市「市制アンケートモニター」対象のSDGsに関するアンケート調査において「自ら取組む」または「市に取り組んで欲しい」SDGsの第1位となっています。

### Tips

### エス ディー ジー ス サ ス テ ィ ナ ブ ル デ ィ ベ ロ ッ プ メ ン ト ゴ ー ル ス S D G s (Sustainable Development Goals) と静岡市

- 2015年(平成27年)9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ(行動目標)」の中核文書であるSDGsは、2001年(平成13年)に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年(平成27年)9月の国連サミットで全193か国の賛成により採択された2030年までの世界共通の目標です。現在、世界中の国々が知恵を出し合い、取り組んでいます。
- 静岡市は、健康長寿のまちづくりなどの5大構想に、SDGsの世界標準である複合的視点を反映させる作業を進めています。
- 静岡市は、日本におけるSDGs先進都市として、国の「SDGs未来都市」に選定されています。
- 静岡市は、世界に向けて情報発信を行う都市として、国連の「ハブ都市」にアジアで初めて選定されています。



